

人の心を動かす楽曲・MV 制作

国際情報学部メディアスタディーズコース
1952039 近藤渚

【概要】 新型コロナウイルスによる外出自粛により、楽しい・悲しい等の感情を抱く機会が少なくなっているのでは無いだろうか。そこで本制作では「自分が制作した楽曲で聴いた人の心を動かすこと」を目的として楽曲制作を行い、また制作した楽曲の理解を深めるために MV 制作にも取り組んだ。

1. 背景

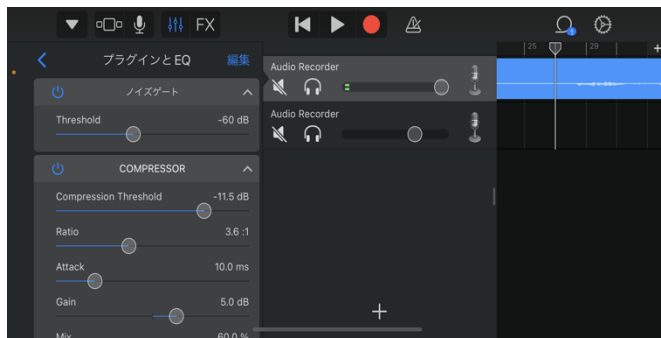
現在、新型コロナウイルスの拡大により外出自粛が余儀なくされている。そのため、「楽しい」「ドキドキ・ワクワクする」「感動する」というような感情を抱く機会が少なくなっているのではないだろうか。現に私もその中の一人である。そこで私は、家の中でも様々な感情を抱くことはできないのだろうかと考えた。一般的に挙げられるのはドラマや映画であるが、本制作では音楽に着目した。元々音楽が好きだからというのも理由として挙げられるが、私自身音楽を聴くことによって上記のような感情をよく抱いているからだ。そして本制作では自ら楽曲制作を行い、聴いた人の心を動かせるような作品を制作したいという考えに至った。また、制作した楽曲の理解を深めるために MV 制作も行うことにした。

2. 目的

本制作の目的は、「自分が制作した楽曲で聴いた人の心を動かすこと」である。そのため、本制作では聴く人によって捉え方が変わる・歌詞を見る前と見た後で捉え方が変わる曲を目標に楽曲制作を行った。歌詞を見る前に聴くのと、見てから聴くのとで「ここはこういう意味だったのか」と楽曲の理解が深まり、人の心を動かすことができるのではないかと考えた。今回、本制作では「別れ」をテーマに楽曲制作を行った。それによって「切ない・悲しい」というような感情を抱いてもらうことを目的とした。

3. 手法

通っているボイストレーニングのレコーディングルームを借りて録音を行い、その後 MV 制作に取り掛かった。楽曲の編集は①GarageBand、動画編集は②VLLO を使用。MV のイラストは piapro（ピアプロ）というサイトからフリーイラストを借りて使用した。また、音源のみ→MV の順に視聴していただき、友人・家族を中心にアンケートを取り意見・感想を求めた。それによって上記の目的が達成できているのかを判断した。



↑ ①GarageBand 編集画面

②VLLO 編集画面 →



4. 制作の過程

当初は完成曲とは正反対の明るい曲を DTM で制作する予定だった。歌詞は完成し、その楽曲の MV で使用するイラストも描いていたが、DAW ソフト（StudioOne5、GarageBand）の中に使用したい音（ギター・ドラムなど）がなかったため断念。その後、実体験を元にしたバラード調の楽曲制作に取り掛かった。全て打ち込みで曲作りを行う予定だったが、ギターはアルペジオにしたかったため録音に変更した。自宅での録音を考えていたが、雑音が入ってしまうため防音室があるボイトレにて録音を行った。ギターを録音した後、ドラム等を打ち込もうと考えていたが、生音のギターと打ち込みの楽器の音がうまく馴染まなかったため、最終的にギター一本の楽曲となった。

・ 9月～11月 曲作り

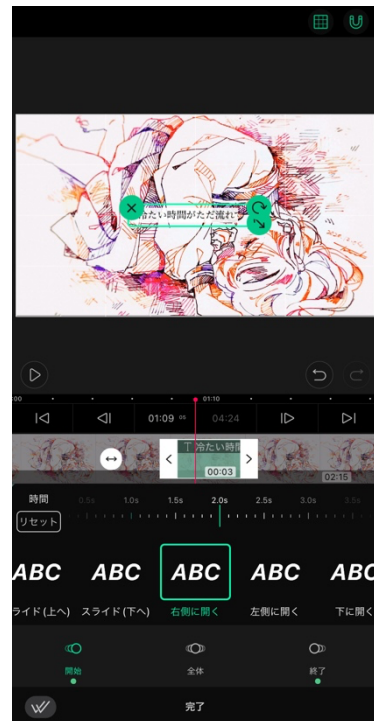
先に歌詞を考え、その後メロディをつけた。歌詞は自分の経験談・思ったことなどを取り入れながら書いた。本制作では亡くなった叔母のことを思いながら詞を書いたが、聴く人によって友人・恋人などにも当てはめられるように自分の経験談に偏りすぎないように気を付けた。また、「行きたい・生きたい・逝きたい」を掛けて歌詞に入れたのがポイントである。叔母が亡くなって、叔母の息子（私のいとこ）や旦那さんはどう思っているのか、まだまだやりたいことや行きたいところがあっただろうなということを想像しながら、また、私だったら残されるのは寂しいから一緒に逝きたいと思うだろうなというような思いを歌詞に込めた。11月15日に仮音源が完成した。

・ 12月8日 録音

レコーディングルームで録音した。分けて録るとリズムが合わせづらいという点から歌とギターを同時に録音した。

・ 1 2 月 中 旬 MV 制 作

MV 制作に取り掛かり始めた。ギリギリまで自作のイラストにするか、フリーイラストを使用するか、実写の画像・動画にするか悩んだが、最終的に「わたなべとまりさん」のイラストを使用して MV を制作した。今回使用した VLLO というアプリは文字入力が横文字しか無いため、一文字一文字改行して縦文字に直した。曲の中盤「いつかきっとデートで着てね」という歌詞があるが、「一」が縦文字で入力できなかったため、そこだけ歌詞が横文字となった。だが、曲のリズムもそこで変わるため違和感ではなかったのではないかと考える。また、MV を見ていて飽きがこないように歌詞の出し方にこだわった。例：「冷たい時間がただ流れてく」は時間の流れを表すため左から右へ歌詞が出るようにし、「冷たい涙がただ流れてく」は涙の流れを表すために上から下に歌詞が出るようにしたなど。



・ 1 2 月 3 0 日 完 成

微調整を行い、作品完成。

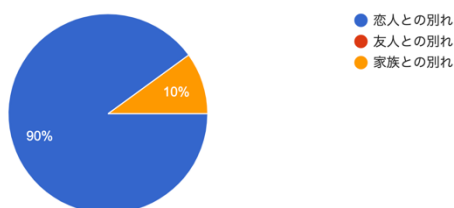
5. 作品に対する意見と感想

この作品は、2022 年 4 月に亡くなった叔母への思いを綴った楽曲であるため、とても思い入れのある曲となった。レコーディングを歌とギター同時に行ったため、歌い出しの口を開く音や、その他雑音を編集消すことができなかったのが残念な点である。アンケートで「前半の文字の出し方や音源の工夫でもっと良くなるのではないかと感じた。歌に感情が乗っている分ギターにも感情や波があると歌と合うように感じた。」という意見をいただいた。次作を作る際は、ハモリを入れたり MIX にも挑戦して音質を良くしたいと考えた。また、ギターはまだまだ練習が足りないと自分でも感じているので頑張りたい。

6. まとめ・結果

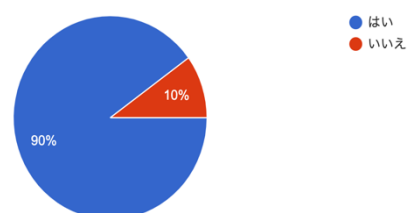
10 人にアンケートを行った結果、90%が楽曲を聴いて恋人との別れをイメージしたと回答した（参照①）。また「楽曲を聴いて誰を思い浮かべたか」という質問に対して「後半に向けて友達だったり、いろんな関係性の可能性が想像できた」「家族」という意見もあったため、1つ目の目標である「聴く人によって捉え方が変わる曲を作る」は達成できた。また「MV(歌詞)を見る前と見た後で楽曲の捉え方・感じ方が変わったか（参照②）」という質問に対して 90%が「はい」と回答した。「最初は恋人との別れだと思ったが、後半にいくにつれてただの別れではなく死別だったのかと、歌詞の漢字の違いで分かるようになるのが秀逸だと感じた」という感想をいただいた。また「MV を見て楽曲の理解度は深まったか（参照③）」という質問に対して 100%が「はい」と回答した。「歌詞をじっくり見て曲の内容がより頭に入ってくるようになり、情景も浮かびやすくなりました」という感想も来ていたため、MV が楽曲理解を深めたことがわかった。そのため、2つ目の目標である「歌詞を見る前と見た後で捉え方が変わる曲を作る」は達成できた。そして「楽曲を聴いて心動かされたか（参照④）」という質問に対して 90%が「はい」と回答した。また「どのような感情を抱いたか」という質問に対して「切ない・悲しい・後悔・恋しい・辛い」という意見をいただいた。そのため、「自分が制作した楽曲で聴いた人の心を動かす」という目的を達成することができた。

楽曲を聴いて、どんなイメージを浮かべましたか
10 件の回答



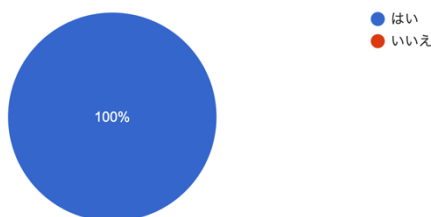
参照①

MV（歌詞）を見る前と見た後で楽曲の捉え方・感じ方は変わりましたか？
10 件の回答



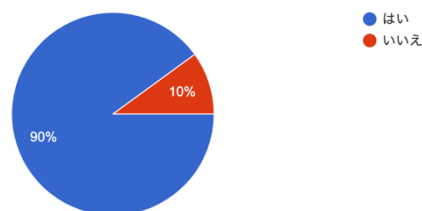
参照②

MVを見て楽曲の理解度は深まりましたか？
10 件の回答



参照③

楽曲を聴いて誰かを思い浮かべたり、心動かされましたか？
10 件の回答



参照④

使用イラスト：わたなべとまり 『ぬくもりは、まだ、のこってる？』
piapro <https://piapro.jp/t/rpDm>